

道路アセットマネジメントプラットフォームの活動概念図

【活動目標】: 開発途上国における道路インフラ維持管理の課題解決に向け、国内外の知見を集約し、以下のような取組を通じて開発途上国での道路アセットマネジメントの定着に向けた道路行政人材の育成を目指す。

①道路橋梁維持管理技プロ

- ・マニュアル類のローカライズ、制度化支援
- ・パイロットワークや現地デモによる試行的導入
- ・PDCAサイクルの定着
→ 現地における産官学連携の基盤を構築

②道路交通分野の課題別研修

- ・先端・高度技術の知見習得
→ 本邦の技術体系(産官学)との交流
- ・参加国間での情報共有
→ 相互協力環境の醸成

③長期留学生受け入れ

- ・基礎～高度技術の習得
- ・学校や卒業生のネットワークを構築
→ 卒業後は現地との橋渡し役、長期的には道路AMのリーダーとして活躍を期待

④その他の活動

- ・民間技術活用、・大学連携、・道路橋梁維持管理に関する成熟度評価、・地方自治体の取組紹介、・日本人技術者の技術研鑽



技術協力、国内外の知見を集約
産官学連携のもと
様々な活動を通じて情報発信



道路アセットマネジメントプラットフォーム

<土木学会>

- ・JICAとの協力覚書
- ・SIPインフラ技術の引継ぎ
- ・関連小委員会

<民間ほか>

- ・日本アセットマネジメント協会
- ・高速道路会社
- ・民間インフラ技術開発会社の海外実装

<国土交通省>

- ・海外展開戦略(道路)
- ・インフラメンテ
国民会議
(海外市場展開フォーラム)

<地方自治体>

<留学生受入大学>

- ・北海道大学
- ・東京大学
- ・金沢大学
- ・金沢工業大学
- ・岐阜大学
- ・長崎大学
- ・琉球大学 他